

居合道たより39号



居合道ながさき



『菊の香や 月夜ながらに 冬に入る』・・・正岡子規 (立冬)

正岡子規の立冬を詠んだ俳句ですが、「菊の香りがするなあ。よい月夜であるけれど、暦の上ではもう立冬だ。」という意味です。「菊」「月」と秋の季語が並んでいます。秋を思わせるのに季節は「冬に入る」というため、季語は立冬です。3つの季語が重なっていますが、効果的に冬であることを強調する表現の俳句です。「立冬」は二十四節気のひとつで、「冬が立つ」と書くように、冬の兆しが見え始める頃。空気がぐっと冷たくなり、冬の気配を感じる時期です。暦のうえでは立冬から冬に入るため「立冬を迎え、暦の上では冬となりました」といったフレーズを見聞きすることが多いと思います。立冬から2月初旬の立春の前日までが暦のうえでは冬になります。



写真：山茶花(理想の恋)

2023年の立冬は、11月7日です。また、立冬といっても、立冬に入る日を指す場合と、立冬から小雪までの約15日間をいう場合があります。

この時期になると、冬の使者「木枯らし」がやってきます。その名の通り、吹くたびに葉を落とし、まるで木を枯らしてしまうように見えることからそう呼ばれています。日々寒さが増すなかで、本格的な冬に向け準備を始める時期です。衣類や寝具のみならず、暖房器具もそろそろ準備しておきたいですね。

居合道の稽古を通して、冬の寒さに負けない体づくりをしておきたいものです。

お知らせ(1)・・・長崎県居合道部「古流研究会」開催

標記の研究会を12月3日(日)長崎県立武道館にて開催いたします。居合道会員皆様の積極的な参加をお願いいたします。

1. 日時 令和5年12月3日(日)10時00分～16時00分
2. 会場 長崎県立武道館(佐世保市熊野町90 Tel. 0956-22-2194)
3. 内容 1)各流派 古流研究会

※ まだ、古流を習っていない方でも大歓迎です。

お知らせ(2)居合道部 年間行事計画(後期)

令和5年度 居合道部 年間事業計画 (令和5年10月1日現在)

月 日(曜)	行事内容	場所
12月 3日(日)	長崎県居合道古流研究会	長崎県立武道館
12月 9日(土)	居合道八段 段位審査会	江戸川区スポーツセンター
12月 10日(日)	居合道七段・六段 段位審査会	江戸川区スポーツセンター
12月 23日(土)	第65回大阪居合道大会	大阪エディオンアリーナ
12月 24日(日)	第25回県下剣道祭	県立総合体育館(サブ)
令和6年(2024) 1月 21日(日)	第2回居合道委員会・理事会	県営野球場(第3会議室)
2月 24日(土)	審査員講習会	大村中央公民館(シーハット)
3月 3日(日)	七段・六段 段位審査会	京都市武道センター
3月 20日(水祝)	北九州居合道大会	北九州市立総合体育館
3月 24日(日)	春季居合道講習会・級位審査会	長崎県立武道館
4月 7日(日)	居合道段位審査会・講習会	長崎県立武道館

お知らせ(3)・・・第25回県下剣道祭で紅白試合

令和5年12月24日(日)、長崎県立総合体育館(サブアリーナ)にて開催されます。昨年同様に日本剣道形試合の後、紅白試合(居合道、杖道、剣道)が行われる予定です。

居合道部からは先鋒、次鋒、大将の対戦方式の紅白試合をします。紅白試合は昨年同様に今までにない形の長崎方式居合道試合を実施する予定です。剣道同様に審判は主審、副審を三角形の位置に椅子に座って、判定の時に立ち上がり、判定の紅白の旗を揚げ、判定をします。選手は開始線に立ち、正面への礼、刀礼、帯刀、試合、刀礼、正面への礼、待機、判定、退場の順で実施します。指定技は全日本剣道連盟居合5本で勝負します。



昨年の県剣道祭居合道紅白試合①



昨年の県剣道祭居合道紅白試合②

報告(1)・58回全日本居合道大会都道府県対抗優勝試合

第58回全日本居合道大会都道府県対抗優勝試合報告

六段の部 畑中健佑(遊道会 長崎市) **全国3位入賞!** 長崎県団体戦 12位
個人の部

七段 2回戦敗退 宮崎大輔(友弼会 大村市)

六段 準決勝進出 畑中健佑(遊道会 長崎市)

五段 2回戦敗退 作永憲昭(葉志塾 佐世保市)

第58回全日本居合道大会都道府県対抗優勝試合が令和5年10月21日(土)東京武道館にて開催されました。五段、六段、七段の都道府県代表選手がトーナメント方式で古流2本(自由技)、全日本剣道連盟居合3本(指定技)の計5本の技で対戦し、各段の個人のポイントの合計が団体の総合成績となります。

本県からは監督として高木志伸居合道教士七段、選手として宮崎大輔(七段の部)、畑中健佑(六段の部)、作永憲昭(五段の部)の3名が参加しました。全日本居合道大会団体戦の結果は長崎県47都道府県中、団体12位(6.16点)でした。優勝は静岡県、2位新潟県、3位が群馬県でした。個人は七段の部 宮崎大輔が2回戦敗退、五段の部 作永憲昭2回戦敗退、六段の部 畑中健佑が3位入賞でした。

六段の部 準決勝戦

静岡県	山本 亮	3	—	0	畑中健佑	長崎県
-----	------	---	---	---	------	-----

準々決勝戦

長崎県	畑中健佑	2	—	1	吉村典久	群馬県
-----	------	---	---	---	------	-----

3回戦

長崎県	畑中健佑	2	—	1	花田 悠	群馬県
-----	------	---	---	---	------	-----

2回戦

長崎県	畑中健佑	3	—	0	山本潔美	和歌山県
-----	------	---	---	---	------	------

1回戦

長崎県	畑中健佑	3	—	0	二木有紀江	石川県
-----	------	---	---	---	-------	-----

五段の部 2回戦 1回戦 シード

長崎県	作永憲昭	0	—	3	直原綾香	岡山県
-----	------	---	---	---	------	-----

七段の部 2回戦 1回戦 シード

長崎県	宮崎大輔	0	—	3	盆子原稔博	兵庫県
-----	------	---	---	---	-------	-----



全日本居合道大会 長崎県選手団



六段の部 畑中健佑(長崎市 遊道会)

全日本居合道大会へ参加して 畑中健佑(長崎市 遊道会)

この度、第58回全日本居合道大会へ6段代表として出場させていただき、3位入賞という結果となりました。監督の高木志伸先生をはじめ、強化稽古選手皆様からご指導をいただいた結果だと思っております。

2021年(令和3年)第56回全日本居合道大会では五段の部で3位入賞になった時の経験をもとに、今大会では精神面や技術的な面で多くのことを準備してきました。その中でも試合の際にはあれこれと考えてしまう傾向がありましたので、極力これだけは最重要のことをシンプルに試合前に意識するだけにして、あとは仮想敵だけを意識することを第一にしようと思掛けて試合に挑みました。

また、試合が2回戦、3回戦と進む中で、監督の高木先生より演武中に「まばたきを我慢すること」で仮想敵を意識することができ、自然に「気迫」と「間合い」が取れてくるというアドバイスを頂き、試合の際にはそれを実践することを第一に努めました。

その外にも自分の試合の間隔がトーナメントを進むごとに狭まる中、栄養補給や水分補給は意識をして取り組みました。稽古場での練習も最低限に留めしっかりと体力を温存するようにも心掛けました。

ファイナルステージの闘いとなる準決勝戦に進むと、演武のために試合まで約1時間の時間待ちとなり、サブ道場での各段の代表だけが稽古する雰囲気やその間の過ごし方が前回と同様に今回も思うように調整ができなかったのが、敗因の一つではないかと思えます。

試合が進むにつれて汗を吸って滑りにくくなった帯の替えの準備や、栄養補給の仕方も、もう工夫しないといけないと強く感じました。少しでも考えられるであろうことは、しっかりと準備をして万全の対策をして臨むことが大事だと再認識しました。

来年の全日本居合道大会にも長崎県代表選手として参加する資格を頂けるよう、またしっかりと稽古をしていきたいと思っております。

